

令和3年度「エネルギー研究成果等販路開拓支援事業補助金」
2次募集の交付先が決定しました

(公財)若狭湾エネルギー研究センターでは、福井県が推進する嶺南エココスト計画(「多様な地域産業の育成」と「デコミッションングビジネス※の育成」)の一環として、県内の企業等が電力事業者または(公財)若狭湾エネルギー研究センターとの共同研究等により開発した、原子力・エネルギー分野、地域産業活性化分野、環境分野、植物工場・施設園芸分野、防災分野に関連する製品・技術の販路開拓を促進しています。

※ 原子炉の廃止措置(decommissioning)に際して、除染、解体、廃棄物処理など関連業務の受注を目指すビジネス

本年度2次募集は、2件(販路開拓枠)の応募があり、審査の結果、下記の2件(販路開拓枠)について補助金の交付を決定しましたのでお知らせします。

記

【販路開拓枠】

事業者名[所在地] (下線:嶺南企業)	事業テーマ【対象分野】	概要
有限会社ウチダプラスチック [鯖江市]	レーザー技術により加飾した眼鏡枠の 販路開拓 【原子力・エネルギー】	H29,30モデル事業補助金で開発した眼鏡枠の技術を応用した欧州人向けの眼鏡を開発し、欧州の展示会出展や欧州人向けの多言語ホームページ改修を行い、欧州(イタリアやフランス)での販路を開拓していく。
株式会社漆琳堂 [鯖江市]	「越前硬漆」の商品製作および販路開拓 【地域産業活性化】	H24可能性調査研究補助金で開発した越前硬漆の技術を応用した商品製作を行い、国内の展示会出展を通じて知名度を向上させ、販路を開拓していく。

(参考)令和3年度「エネルギー研究成果等販路開拓支援事業補助金」の2次募集概要

補助事業者	補助対象事業	補助率 補助限度額	募集期間
①「新産業創出シーズ発掘事業」により製品等を開発した企業 ②「嶺南地域新産業創出モデル事業」により製品等を開発した企業 ③電力事業者や若狭湾エネルギー研究センターとの共同研究にて製品等を開発した企業 ④県が開催した「廃炉業務評価委員会」(H29~30)において、廃炉業務で活用可能と評価された製品等を開発した企業	原子力・エネルギー分野、地域産業活性化分野、環境分野、植物工場・施設園芸分野、防災分野 ※上記分野の事業に係る展示会出展などの販路開拓、新商品の広報宣伝活動	補助対象経費の1/2 200万円/年 (最長2カ年)	令和3年7月7日~ 令和3年7月30日

【お問い合わせ先】

公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター
産業育成部 永山、一宮

TEL: 0770-24-7276 (直通)